

図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区靴屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<https://www.town.taka.lg.jp/library/>

「穏やかな図書室の時間」

学校司書 後藤さおり

社会人になり、いくつかの仕事を経験したが、基本はずっとピアノ講師。子育てするのに自宅で出来る仕事は有難かったが、子どもの手が離れてくると、何か新しいことを始めたいと思うようになった。資格に挑戦することで、受験生の娘と同じ気持ちになれるかも？本が好きだからと安易な気持ちで「図書館司書」を目指したが、学生はウン十年ぶりでレポートもなかなか書けない。そんな時、父が読みかけの本を残して突然あちらに旅立った。小さい頃よく本を読んでくれた父に、励まされたような

気がして何とか資格を取得。昨年の春、ご縁あつて図書室に息を吹き込む役を頂いた。中学校の図書室に着くと、照明のスイッチを押してカーテンを開け、部屋の温度を整える。子どもたちは真面目で、本を読まないなら図書室には用がないと思っているらしく、来てくれるのはよほどの本好きか、勉強する3年生がほとんどだ。でも、ここには色んな本がある。世界の絶景や可愛い動物の写真を眺めたり、トリックアートを楽しんだり、画集を広げたり。とりあえず気になった本を開いてみて！面白くて、いつの間にかしゃがみ込んで大丈夫なように。ちっちゃなイスを置いたり。どうしたら図書室に来てくれるかな？先生方に

助けていた大きなながら試行錯誤している。子どもたちは目ざとくて、図書クイズのため壁に貼り付けた飾りにも瞬時に反応してくれるし、時には一緒に折り紙や展示を手伝ってくれたりもする。勉強中は邪魔をしないように、ちよつと距離を置いて見守るようにしているが、時々お喋りの仲間入りをさせてくれることもある。最近、桜にまつわる本を集めて「サクラコーナー」を作った。3年生が無事合格できますようにと願いを込めて。この原稿が読まれる頃には、みんな新しい世界で頑張ってるだろうな。この図書室で過ごした穏やかな時間を、いつか思い出してくれたら嬉しい。



言の葉だより

作家、親善大使など様々な顔を持つ俳優
黒柳徹子 編

2500万部を超える、空前のベストセラー『窓ぎわのトットちゃん』。2023年には映画化され、42年ぶりに続編が出ました。“トットちゃん”とは、今もなお俳優や司会者として第一線で活躍する、黒柳徹子さんです。

幼い頃「テツコ」と言えず「トット」と言っていたことから、自然とその呼び名に。トットちゃんは昭和8年、黒柳家の第一子として生を受けます。前作では、奔放な行動ゆえ小学校入学後数カ月で退学を言い渡され、その後通った「トモエ学園」での、のびのびとした小学校時代を描きました。続編では、戦争が激化したのを機に、母子4人で青森へ疎開してからの半生を綴っています。

終戦から1年後、進学のため1人東京へ。昭和24年には、シベリアに抑留されていた父親が5年ぶりに帰国。家族は東京でまた一つになりました。そして進路に悩んでいたある日、NHKのテレビ専属俳優募集の新聞広告が目にとまります。試験が行われた昭和28年にはテレビ放送が始まり、テレビ時代一期生としての期待も背負っていました。6千人の中から十数人が合格。その中にトットちゃんの姿もありました。1年間の養成期間を経て正式採用され、子ども向けラジオドラマ「ヤン坊ニン坊トン坊」でデビュー。番組は大成功を収め、以降ラジオやテレビで活躍していくことになります。

また昭和59年、アジア初のユニセフ親善大使に任命されました。戦争の生々しい傷あとが残る現地を訪れ、子どもたちが直面している問題を広く訴え、募金などの支援を呼びかける活動が続けておられます。

現在90歳。好奇心旺盛で強い意志を持つトットちゃんの活躍に、これからも目が離せません。

トモエのことを書く、というのは、長い間、もっとも、私がしたいと思っていたことの、ひとつでした。(略)トットちゃんみたいな女の子でも、まわりの大人のやりかたによって、なんとか、みんなとやっていける人間になれる、という事を知って頂けたら、と思っているのです。

— 『窓ぎわのトットちゃん』より —

トットちゃんに関連するクイズです。

- I. 「トモエ学園」の小林校長先生が、1日に何度も、トットちゃんに言い続けてくれた言葉がありました。「君は〇〇〇いい子なんだよ」。〇〇〇に入る言葉はどれ？
- ①とても ②日本一 ③本当は ④意外と
- II. NHKの採用試験に見事合格したトットちゃん。合格の決め手となったのは？
- ①演技について何も知らなかったから
②個性的な声をしていたから
③記憶力が良かったから
④周りを明るくさせるから
- III. 独特のヘアスタイルが印象的です。最初に“タマネギ”と呼んだのは誰？
- ①渥美清 ②井上ひさし
③久米宏 ④草野仁
- IV. トットちゃんが大好きな動物は？
- ①ゾウ ②パンダ ③キリン ④ウサギ

【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】『窓ぎわのトットちゃん』『続 窓ぎわのトットちゃん』(講談社)、『トットちゃんとトットちゃんたち』(講談社)、『小さいときから考えてきたこと』(新潮社)、『トットひとり』(新潮社)

※いずれも黒柳徹子／著

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

| — 4月 — | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

| — 5月 — | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

| — 6月 — | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | | | | | | |

休館日

【こたえ】 I・・・③ II・・・① III・・・③ IV・・・②

クリスマス ミニコンサート

12/16



今回のミニコンサートでは、病院・学校園・老人会など様々な施設で演奏活動をされている丹波マンドリンクラブ「クローバ」のみなさんに演奏いただきました。3種類のマンドリンとクラシックギターによる調和のとれた優しい音色が図書館の中に流れ、幅広いレパートリーで聴衆はマンドリンの世界へと引き込まれました。途中には演奏に合わせ一緒に歌ったり、曲当てクイズをしたりと、会場が一体となったコンサートで、日頃の図書館とは違った雰囲気を感じ、楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



かるた会 1/13



今年、多可町子ども会育成連絡協議会と協賛で開催しました。百人一首 12 名、いろはカルタ 17 名と、町内外からたくさんのおともたちが参加してくれました。とくに百人一首は、例年以上に参加者が集まりました。子どもたちの白熱した戦いに会場は大いに盛り上がり、熱気に包まれていました。いろはカルタは、年齢別のグループにわかれ、大きいカルタやおはなしカルタ、ことわざカルタなどで札を取り合いました。小学生のグループは、播州弁カルタにも挑戦しました。札を取る「はい」という元気な声が会場に響き渡りました。

図書館 NEWS

— 12.11~3.31 —



12月23日、クリスマスおはなし会を行いました。3歳~11歳のおともたち 17 人と保護者が参加くださいました。冬のおはなしやクリスマスにちなんだ絵本、「はらぺこあおむし」のパネルシアターなどを披露しました。大きな絵本に目が釘付けになったり、あおむしが食べるのにあわせて親子でむしゃむしゃしたりする微笑ましい姿も見られました。最後に、素敵なプレゼントをお渡ししました。みんな喜んでくれたかな？

クリスマス おはなし会

12/23

約 100 年前に北海道で起きた大災害と、そこで懸命に生きる人々を描いた、一気読み必至の名作です。(あ)

3 日後、奇跡的に一命を取り留めた拓一が戻ります。「家族の命を奪った土だからこそ、この地で農業を続けたい」。流木の散乱する、硫黄に荒れた泥田を復興することに命をかける拓一。兄の思いをくみながらも、無理だと諭す耕作に、拓一は言います。「大変な時にこそ持ちこたえる馬鹿がいなくて、この世は発展しない。俺はその馬鹿になる」

大正 15 年 5 月、突如十勝岳が爆発します。溶岩にとけた積雪が泥流となり、すべてを押し流しました。裏山の頂上からその様子を見ていた兄弟。しかし拓一は、逃げ遅れた家族を救うべく荒れ狂う激流に飛び込みます。噴火からわずかな時間に起こった出来事に、耕作は悪夢を見ているような心地がするのです。

日々通勤・通学をする人にとって「連休」はうれしいもの。ただそれは、会社や学校での複雑な人間関係や、せわしない日常があるからこそ、次の休みが待ち遠しく、休日が何日でも続けばいいの、と思うのかもしれない。

会社員であればゴールデンウィークや年末年始の 10 日程度、学生ならば夏休みの 40 日程度がいゆる連休の相場です。ところが、著者は仕事を辞め、結果的に 6 年間、2000 連休以上を過ごしています。

あまりに長い連休の間に、人間の感情や身体はどのように変化していくのか。自己探求した様々な結果が書かれています。週に 1 度、大勝利の解答で得た最低限の金を稼ぐ事はしているのに、全休日ではありませんが、基本的に世間と離れて生活しています。2000 日以上かけて自分を掘り出した実例として見れば、非常に興味深く、疑似体験しているような感覚になりました。後半になるにつれ哲学的な思索が多くなりますが、押しつけがましい考察や解説は少なく、最後まで面白おかしく読めます。

人生の指南書ではなく、衝撃の体験談といえる作品です。(よ)

Book Menu

『泥流地帯』 『続 泥流地帯』



三浦綾子/著
主婦の友社 (F ミウ)
ジャンル：小説

『人は 2000 連休を 与えられると どうなるのか？』



上田啓太/著
河出書房新社 (916 ウ)
ジャンル：ノンフィクション

『大きい 1 年生と 小さな 2 年生』



古田足日/作
偕成社 (K913 フ)
ジャンル：児童書

「2024 年本屋大賞」 ミネート作品が 発表されました。

大賞の発表は 4 月 10 日(水)です。



F カワ



F オカ



F ツム



F ナツ



F シオ



F ミヤ



K913 チ



F ナキ



F アオ



F タサ

| 候補作家 | 作品名 | 出版社 | 所蔵館 |
|-------|--------------------------|--------|-----|
| 川上未映子 | 『黄色い家』 | 中央公論新社 | 多可 |
| 小川哲 | 『君が手にするはずだった黄金について』 | 新潮社 | 多可 |
| 津村記久子 | 『水車小屋のネネ』 | 毎日新聞出版 | 多可 |
| 夏川草介 | 『スピノザの診察室』 | 水鈴社 | 加美 |
| 塩田武士 | 『存在のすべてを』 | 朝日新聞出版 | 多可 |
| 宮島未奈 | 『成瀬は天下を取りにいく』 | 新潮社 | 多可 |
| 知念実希人 | 『放課後ミステリクラブ1 金魚の泳ぐプール事件』 | ライツ社 | 多可 |
| 風良ゆう | 『星を編む』 | 講談社 | 多可 |
| 青山美智子 | 『リカバリー・カバヒコ』 | 光文社 | 加美 |
| 多崎礼 | 『レーエンデ国物語』 | 講談社 | 多可 |

1 年生になったばかりのまさやとは、背が高くからでも大きいけれどたいへん臆病な男の子です。一方、2 年生のなかで一番背が低いのをいやだと思っているあきよは、自分の気持ちに従いまっすぐに行動する女の子です。

通学路の暗い崖が怖くて登校しづらなまさやは、あきよに手を引かれて登校します。そんなしつかり者のあきよが、苦勞して見つけたホタルブクロの花を上級生に踏みじられるという出来事が起こります。気丈なあきよが泣き出すのを見て、まさやはあきよの好きなホタルブクロが群生しているという一本杉の森へ行こうと決心します。遠い一本杉まで、たつたひとりで向かうまさや。様々な迷いや弱気が起こるたび、あきよちゃんならこうする、と自分を励まし歩き続けるのでした。

小さな事件の連続が、まさやを少しずつ強くし、成長をもたらします。そんなまさやから頼りにされているのだと気づき、あきよは背が伸びないと悩む自分をおかしく思うのでした。ホタルブクロの野原と空にかかる雨上がりの虹が、大きい 1 年生と小さな 2 年生を祝福してくれる物語です。(り)